

名古屋支部

金山総合駅で朝のラッシュ時に啓発活動を展開

6月7日（水）名古屋支部（新美三良支部長）の不法投棄防止キャンペーンが実施され、支部長、役員、会員ら32名と中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課廃棄物対策等調査官 笹木秀俊氏、名古屋市環境局事業部廃棄物指導課長 浅井隆行氏、環境局産業廃棄物指導係長 中村 晃氏、一般廃棄物指導係長 加藤友一氏、技師 明石雅代氏、技師 向井鷹弥氏ら6名、協会から小坂元信事務局長が参加しました。



金山総合駅連絡通路橋内に特設コーナーを設営

参加者は事前に愛産協議室に集合して出発式を行い、浅井課長は開会の挨拶を述べ、新美支部長の号令のもと、金山総合駅に向かいました。

昨年に続き金山総合駅連絡通路橋の南口の一角に特設コーナーを設け、名鉄、JRの乗降客やコンコー



展示ボードの前で一般の方に説明を行いました。



行政関係者の方々と参加者の皆さん

スを通り抜ける市民に向けて、ごみの不法投棄防止の啓発活動を実施しました。特設コーナーには藤前干潟の不法投棄物撤去作業や天白川清掃活動など環境活動の歴史を写真で紹介した展示ボードを掲示し、支部活動をアピールすることができました。展示ボードの前には通勤途中の方、シニアの方々が足を止め、環境活動について説明を聞いている方が目立ちました。



南口広場にて清掃ボランティアを行いました。

今年も女性支部会員が多く参加され、特設コーナーの周りだけでなく名鉄、JRの改札口付近や地下鉄に向かう方々にひと声かけて、ウェットティッシュを手渡していました。また啓発活動とは別に、南口広場では花壇や植え込みに捨てられたごみを拾う収集作業も実施され、ごみ袋とごみ取りハサミを手に駅の美化に協力しました。

キャンペーンは午前11時30分に終了し、新美支部長、永井副支部長からパトロール活動への感謝の言葉がありました。また名古屋市環境局 中村係長から環境保全の取組へのお礼と特設コーナー内に相談コーナーを設け、一般市民の方とふれあう接点を持ったかどうかといったアドバイスもあり、有意義な不法投棄防止活動となりました。